



120の作品からひもとく、
花のデザインの基礎理論
保存版

すべての花職
|| 花を扱う人のために。



花を活ける人が必ず知っておきたい

基本セオリーがわかる 花のデザイン

～歴史・テクニック・デザインテーマ～

| 磯部健司 監修 | 花職向上委員会 編 |

音楽や建築などの分野と同様に、花の世界にも、これまでの歴史の中で培われてきた技術や理論があります。花をデザインするうえで、そうした基礎はとても大切です。自由な発想だけでは限界を感じることがあっても、ベースとなる知識を身につけていれば、そこから新たなデザインを生み出すことができるのです。

本書は、「歴史」「造形・構成・テクニック」「テーマ」の3章に分けて、花のデザインをするうえで知っておきたい基礎知識や理論を解説。美しい120の作例をもとに、わかりやすくアプローチします。初心者から上級者まで、花を活ける人なら常に手元においておきたい1冊です。

chapter 1

歴史

- 1 20世紀の遺産
- 2 重点の転移
- 3 デザインとアート
- 4 魅せる場所・方法の変化
- 5 伝統的なスタイル

chapter 2

造形・構成・テクニック

- 1 複数焦点のテクニック
- 2 スワリング
- 3 かたちのないもの
- 4 非対称と対称、エキセントリック
- 5 基礎造形

chapter 3

テーマ

- 1 景観の印象と解釈
- 2 スタイルミックス
- 3 グラフィック
- 4 現代テーマ+造形テーマ



花職向上委員会 ● 花職人（花を扱うすべての人）の知識や技術、地位の向上、花業界の発展のために活動する任意団体。
<http://www.flower-d.com/>

磯部健司 ● 花職向上委員会 委員長。フローリストアカデミー代表、株式会社花の百花園取締役。1997TOY 世界大会優勝。各種団体の講師を務め、花のデザインだけでなく、花職向上のためプロに向けた指導に力を注ぐ。

128P (オールカラー)/ソフトカバー/定価：本体 1,900 円+税 / ISBN978-4-416-61400-6

ご注文は下記までお問い合わせください

株式会社 誠文堂新光社 販売部 TEL 03-5800-5780 FAX 03-5800-5781

■ HP からもお求めいただけます ■

<http://www.seibundo-shinkosha.net/pickup/hanashoku>